

令和5年度 厚木北高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	○法令をはじめ社会規範ルールを守り、教員全体の不名誉となる行為は行わない。	○勤務時間の内外を問わず、教育公務員の立場を常に自覚して生徒・保護者に対して職責を果たすプロ意識の強化を図った。 ○職員として、公務内外において、常に高い倫理観を持ち、自身の行動を律し、不祥事（わいせつ事案等）防止を徹底した。 ○「教員のコンプライアンスマニュアル」の活用を推進した。
② 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	○ハラスメントを防止し、職員がその能力を十分に発揮できるような良好な勤務環境を整える。	○校長は、すべての教職員に個別面接での手厚い聞き取りを実施した。 ○ハラスメント防止に係る職員研修を実施した。 ○ハラスメント防止のリーフレットを配付した。 ○教職員のアンケートを実施した。 ○ハラスメントの相談窓口を周知した。 ○日頃から「気になることは、すぐに相談」と声掛けを行い、不祥事防止の意識を高めた。
③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	○生徒との不適切な関係、立場を利用した不適切な行為（わいせつ行為）、生徒等を傷つけるような性的言動（セクシュアル・ハラスメント）等を絶対に行わない。	○生徒指導・支援、部活動指導等において、必ず複数人で対応した。 ○生徒とのSNS等利用の禁止を徹底した。 ○生徒連絡先の適正な取得・管理方法、教科準備室等の適切な利用を周知し、ルールを厳守した。 ○生徒のセクハラに対する意識を啓発し、相談体制を周知するとともに、アンケート実施、セクハラ実態の把握、事実確認及び被害への対応を行った。 ○校長による、すべての教職員への個人面接を実施した。
④ 体罰、不適切な指導の防止	○体罰、暴言等の不適切な行為は決して許さない学校風土をつくる。	○校長がすべての教職員に個別面接を行い、不適切な指導の防止を徹底した。 ○管理職が定期的に校内巡視を行った。 ○「気になることは、すぐに教職員相互が声掛けをする。」この雰囲気醸成した。 ○生徒へ校内における相談窓口を周知した。 ○「体罰防止ガイドライン」を活用し、校内研修を実施し、教職員の子どもの人権を守る人権感覚をより向上させた。
⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○各業務に関するマニュアル等を厳守した適切な事務処理を行う。 ○相互チェック機能を強化する。	○入選マニュアルをカラー印刷し、各業務を複数体制で遂行し点検・確認を確実にを行った。 ○答案用紙の誤廃棄を防止するために、試験期間中のシュレッダーの使用を中止し、事故防止を徹底した。 ○成績処理、進路書類に関するマニュアル、チェックシートを整備し、チェック体制の精度をより向上させ、確実に業務を遂行した。
⑥ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	○生徒に係る個人情報を扱う際のルールを厳守する。 ○情報資産の機密性、完全性を維持する。	○教務手帳は指定のロッカーに保管し、管理職が返却の点検を行った。 ○個人情報持ち出し手続きを確実にを行った。（携帯電話等への登録も同様に行った。） ○貸出し用USBメモリの棚卸しを定期的に行い、管理を徹底した。 ○県情報セキュリティポリシーに基づき、セキュリティ対策を推進した。

⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	○交通法規の遵守に努めるとともに、交通違反や交通事故を防止する。 ○酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	○啓発資料を活用した研修を行い、職員の意識を高め、事故防止に組織的に取組んだ。 ○「交通法規の遵守」「交通事故防止」「飲酒運転は同乗者も免職」等の注意喚起を行った。
⑧ 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	○書類の整理・保管を徹底する。 ○危機管理意識の徹底と不祥事防止を図る。 ○適正な業務遂行環境を確立する。	○起案・決裁等を確実に実行し、決裁済みの文書はキャビネットに適切に保管した。 ○日頃から危機管理意識を喚起し、不祥事の未然防止を徹底した。 ○ある時期に過大に業務が集中していないか点検し、過大な場合は適正化を図った。
⑨ 財務 事務等の適正執行	○備品管理の適正化を推進する。 ○不適正経理、不適切な現金取扱を防止する。	○備品の現物照合を確実に実行した。 ○会計事務等の適正執行の徹底を図った。 ○私費会計基準に則った会計処理の徹底を図った。
⑩ 部活動指導の点検	○部活動の目的や活動の意義を再確認し、安全に配慮した活動を行う。	○部活動総点検を定期的に設定し、生徒用点検表、顧問・指導者用点検表を用いて、望ましい環境で活動ができているか確認を行った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

- ・職員間のコミュニケーションがとれており、風通しがよい職場となっている。今後も職員間で気になることには、常に声を掛け合い、ハラスメント防止に向け、組織的な取組みを継続させる。
- ・不適切な指導に対する職員の意識向上のための研修を実施し、成果をあげた。今後も全職場の人権感覚を高めるための研修を更に充実させる。
- ・進路指導、成績処理、入学者選抜業務における不祥事防止に向けて、チェックシートを活用し複数チェックの取組みを行うなど、事故・不祥事ゼロを達成することができた。今後もチェック体制の精度を更に向上させ、不祥事の防止を徹底する。
- ・交通安全の意識を高める取組みを継続する。
- ・文書管理、財務事務に関する業務執行体制がよく機能しており、不祥事を防止できた。今後も体制の精度を向上させ、不祥事の防止に取り組んでいく。